



藤田小学校だより



Toda elementary school times 学校教育評価アンケート結果概要
(令和3年12月実施分)

《号外》
令和4年1月28日
守口市立藤田小学校
校長 佐藤 裕宣

(1) 児童アンケート結果より

※「肯定的回答」＝「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」

児童アンケート結果 (低学年114名、中学年81名、高学年94名の回答)	低学年			中学年			高学年			全学年		
	そう思う	どちらかといえばそう思う	肯定的回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	肯定的回答	そう思う	どちらかといえばそう思う	肯定的回答	肯定的回答	(前年数値)	(前々年数値)
1 学校へ行くのが楽しい。	66.7%	18.4%	85.1%	66.7%	22.2%	88.9%	57.4%	27.7%	85.1%	86.2%	91.0%	91.2%
2 授業はわかりやすい。	57.9%	24.6%	82.5%	61.7%	30.9%	92.6%	54.8%	39.8%	94.6%	89.2%	93.2%	88.7%
3 先生は、学習や生活で自分が頑張ったことをほめてくれる。	60.4%	23.4%	83.8%	72.8%	21.0%	93.8%	57.0%	38.7%	95.7%	90.5%	88.0%	90.4%
4 先生(担任やほかの先生)に、気軽に相談できる。	45.9%	22.5%	68.5%	45.7%	28.4%	74.1%	39.4%	36.2%	75.5%	72.4%	73.5%	78.7%
5 先生は約束したことを守ってくれる。	64.3%	16.1%	80.4%	58.0%	28.4%	86.4%	56.4%	33.0%	89.4%	85.0%	91.5%	87.4%
6 いろいろな学校行事(遠足・運動会など)は楽しい。	90.1%	7.2%	97.3%	86.4%	7.4%	93.8%	79.8%	16.0%	95.7%	95.8%	94.4%	96.7%
7 朝の読書や図書の時間で、本を読むことがすきになった。	59.5%	20.7%	80.2%	65.4%	18.5%	84.0%	53.2%	31.9%	85.1%	82.9%	72.2%	79.5%
8 学校では、命の大切さや社会のルールについて学んでいる。	65.8%	19.8%	85.6%	66.7%	23.5%	90.1%	72.3%	25.5%	97.9%	90.9%	92.3%	94.6%
9 人のいやがることを言ったり、したりしないように気を付けている。	60.0%	26.4%	86.4%	60.5%	33.3%	93.8%	63.8%	30.9%	94.7%	91.2%	92.3%	93.7%
10 お家の人は、あなたの気持ちをよくわかってくれる。	76.4%	16.4%	92.7%	74.1%	18.5%	92.6%	66.0%	24.5%	90.4%	91.9%	91.5%	92.9%
11 学校のことや、友達のことをよくお家の人と話している。	72.3%	17.9%	90.2%	69.1%	19.8%	88.9%	64.9%	26.6%	91.5%	90.2%	85.0%	84.9%
12 先生・地域の人・子どもサポート隊の方々にあいさつをしている。	52.7%	24.1%	76.8%	54.3%	30.9%	85.2%	60.6%	34.0%	94.7%	85.0%	84.2%	89.1%

◎ 重要設問に位置付けている、設問1「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が86%、設問2「授業はわかりやすい」は89%と、ともに前年度比4～5ポイント減となりました。設問5「先生は約束したことを守ってくれる」が85%で約7ポイント減となったことも含め、学校として重く受け止め、教職員一同意識して児童へのかかわり方を見直すとともに、授業準備を十分行い、授業研究等、研修にもさらに力を入れていきます。

◎ 設問3「先生は自分が頑張ったことをほめてくれる」の肯定的回答が90%を超え約2ポイント増となりました。学校として児童の頑張りを称える機会を意識的に増やすようにした結果であれば嬉しく思います。

◎ 設問6「学校行事は楽しい」は95%を超えました。コロナ禍、感染の波を見極めながら早めに次の日程をpushするなどして、宿泊・校外学習ができたことが大きかったのかと思います。



◎ 設問7「本を読むことがすきになった」の肯定的回答が10ポイント以上アップしました。図書委員会の活動や読書感想文、今年度は新たに冬休みに読書感想画に取り組むなど、読書をする機会を増やしたい思いが結果になっているのであれば良いことです。毎日10分だけでも読書する習慣が児童に身につけば良いなと思っています。

◎ 設問12「あいさつをしている」も微増ながらアップ、高学年の肯定的回答は約95%となりました。朝、目が合ってニコリしてくれる児童が増えてきました。これからも『目を見て 笑顔で 元気よく』を心がけてください。

(2) 保護者アンケート結果より

保護者アンケート結果 (149名の回答)		A	B	C	D	今年度の肯定的回答 (A+B)	前年度の肯定的回答	前々年度の肯定的回答
		よくあてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない			
1	学校は、学校だよりや懇談会を通じて、教育方針や子ども達の様子を分かり易く伝えている。	34.2%	60.4%	4.0%	1.3%	94.6%	96.9%	94.4%
2	学校は、他校にない、独自の教育活動を行っている。	6.8%	51.0%	33.3%	8.8%	57.8%	68.4%	62.7%
3	学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている。	21.5%	69.1%	6.7%	2.7%	90.6%	88.4%	80.7%
4	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。	29.5%	61.7%	8.1%	0.7%	91.3%	92.0%	90.1%
5	学習の内容等を、懇談や学年通信などによって知ることができる。	34.9%	53.0%	9.4%	2.7%	87.9%	91.6%	91.8%
6	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	46.3%	43.6%	8.1%	2.0%	89.9%	93.3%	89.7%
7	先生は、楽しい授業・わかりやすい授業をしようと工夫している。	38.3%	51.7%	8.7%	1.3%	89.9%	92.4%	92.3%
8	少人数指導は、子どものペースにあっているようだ。	34.7%	53.7%	6.1%	5.4%	88.4%	91.1%	91.8%
9	子どもは、少人数による指導により、学習意欲が向上したようだ。	19.3%	62.1%	13.1%	5.5%	81.4%	80.9%	78.1%
10	子どもは、少人数による指導について、丁寧な指導によりわかりやすいと言っている。	22.2%	63.9%	6.9%	6.9%	86.1%	83.6%	81.5%
11	先生は、子どもの能力や努力を適切に評価している。	40.3%	53.7%	4.7%	1.3%	94.0%	92.0%	91.0%
12	学校は、子どものことについての相談に応じてくれる。	42.3%	52.3%	4.7%	0.7%	94.6%	91.6%	92.7%
13	先生は、子どものことをよく理解してくれている。	41.5%	48.3%	7.5%	2.7%	89.8%	89.8%	88.8%
14	先生は、子どもの間違っただ行動には適切な指導をしてくれる。	35.8%	55.4%	7.4%	1.4%	91.2%	90.7%	91.0%
15	学校は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	24.0%	65.1%	10.3%	0.7%	89.0%	85.8%	90.6%
16	学校は、運動会や児童会活動を通じて、子ども達が主体的に活動できるように工夫している。	33.1%	59.5%	6.8%	0.7%	92.6%	93.3%	92.7%
17	学校は、地震や台風など緊急の場合の対応について、適切な対応をしている。	47.7%	50.3%	2.0%	0.0%	98.0%	97.3%	93.6%
18	学校は、事故防止・安全確保のため、施設・設備の点検等、学習環境面に配慮している。	20.4%	68.0%	9.5%	2.0%	88.4%	91.1%	89.7%
19	学校は、教育に必要な費用についてわかりやすく説明している。	27.0%	63.5%	8.8%	0.7%	90.5%	94.2%	93.6%
20	学校では、PTA活動が活発である。	13.2%	60.4%	22.9%	3.5%	73.6%	80.0%	81.5%

《本校の主な教育課題》 基礎学力:34.3%、基本的生活態度:21.5%、心の教育:23.0%、体づくり:10.9%、児童の主体性:7.7%、その他:2.6%

- ◎ 20の設問のうち肯定的回答が90%以上となったのが9項目。昨年度の13項目より減少しており数値が低下した設問については、特に意識して今後に生かしていこうと思います。また、回答数が149と昨年度の225に比べ減少しました。紙媒体からウェブでの回答に変更したことも影響したのかと思っています。今後、より多くの保護者からご意見をいただけるよう工夫していきます。
- ◎ 設問1「学校だより等で子ども達の様子をわかり易く伝えている」は、94.6%の肯定的回答。校長として、保護者に学校での児童の様子を知ってもらいたい思いは強く持っており、これからも「藤田小だより」やホームページを通して、積極的に伝えていきます。あわせて、前年度比ダウンしている、設問5「学習の内容等を学年通信等によって知ることができる」の肯定的回答もアップしていけるよう、学校として努めていきます。
- ◎ 設問3「学校は、保護者・地域の願いに応えようとしている」の肯定的回答が昨年度80%から88%に上昇し、今年度は90%を超えました。これからも学校として“聴く力”を伸ばしていけるよう努めていきます。
- ◎ 設問6「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」の肯定的回答が、前年度比ダウンでわずかながら90%を切りました。この重要設問の肯定的回答をアップしていけるよう、児童・保護者の声を大切に取り組んでいきます。これからも、保護者の皆様からの前向きなご意見を多数いただければ幸いです。
- ◎ 設問11「子どもの能力や努力を適切に評価」、設問12「子どものことについて相談に応じる」、設問14「子どもの間違った行動には適切に指導」に対する肯定的回答が少しずつですがアップしていることは、学校としては嬉しいことです。学校、教職員として当然のこととは言え、これからも丁寧に児童への指導にあたり、児童と関わっていけるよう努めていきます。
- ◎ 設問15「いじめのない学級づくりに取り組んでいる」の肯定的回答が昨年度よりアップし89%。学校としては、マニュアルに則り、いじめを広く認知し、組織的に対応する。「機を逃さぬ指導」、「継続的見守り」を経て「いじめ解消」につなげていく。今後もアンテナ高く、担任等個人でなく組織で迅速に対応するよう、努めます。
- ◎ 設問7「先生は、楽しい授業・わかりやすい授業をしようと工夫している」の肯定的回答が、昨年度の92.4%から89.9%に減少し、設問8~10の少人数指導に関する設問の回答も、まだまだ伸びる余地があると思っています。少人数指導は、加配教員(※)を活用し、これまで算数の指導に力を入れてきました。今後は、従来の取組みに加え、児童の実態を考慮し、丁寧にわかりやすい指導、学力・学習意欲の向上を目指します。



(※)「加配教員」:「務義務教育標準法に基づく教員定数に上乗せして配置される教員」

(3) 保護者の記述式回答を受けて

① 今年度の運動会について(種目の精選、午前中開催、保護者の人数制限)

コロナ禍、昨年度の学年別体育参観でなく、午前中開催でも全学年での運動会ができたことに肯定的な意見が多かったものの、種目が減った寂しさや組体操やソーラン等、団体演技が見たかったという意見が多数ありました。また、他学年に比べ6年生の持ち時間を多めに設定したものの、6年生の競技の見せ場がもっと欲しかったという内容もありました。職員会議で時間をかけて協議の上、団体演技は密になりやすく指導時間も団体競技よりも多く必要なことから今回は実施しないことを決定しました。次年度以降は、コロナの状況を見極めながら、体育とその他の教科の授業時間数のバランスを考慮しながら種目や開催時間等、検討していきます。

人数制限にも多くは理解を示していただきましたが、一部守っていない家庭があったとの指摘もあり、座席も含め今後PTAとも協議し、可能な限り気持ちよく参観いただけるよう努めていきます。



② 今年度の校外学習や宿泊学習の実施について

昨年度は、お子様を宿泊学習に参加させるにあたり、不安な思いをされた保護者の意見も散見されましたが、今年度はほぼすべての回答が肯定的な意見でした。昨年度と比べ、我々がすべき感染対策が明確になったことに加え、訪問先の感染防止対策が格段にすすんでいたことは引率する立場としては嬉しく感じました。ただ、修学旅行がやむを得ず11月実施となったことで寒かったとのご意見もあり、次年度は年度当初の計画通り、ベストシーズン(次年度の林間学舎の予定日:6月16日~・修学旅行:9月21日~)に実施したいものだと改めて思いました。

③ オンライン授業について（夏季休業中の接続テスト、iPadの持ち帰り等）

「GIGA スクール構想」がコロナ禍で予定を繰り上げて一気にすすみ、全学年児童に1台のタブレット端末が渡され、夏休みには接続テストを実施。2学期からは毎日、持ち帰ることになりました。市教委から3学期に入って感染者が急増する中、急な臨時休業に備えてタブレット端末を毎日持ち帰るよう、再度指示がありました。「ランドセルが重い」、「故障や破損が不安」等の意見が多くありましたが、ご理解いただきたいと思ひます。

接続テストは、特に低学年の保護者にはご負担をおかけしました。意見を読ませてもらって再度、申し訳ない思ひでいっぱいになりました。ただ、児童は日々活用することでタブレット端末の扱いに慣れ、低学年は『ドリルパーク』を活用した家庭学習を熱心に行う児童も増えてきました。授業中、クラスメートの意見をタブレット端末で確認し自分の意見をまとめたり、理解を深めたりする場面も多くみられるようになりました。

オンライン授業は賛否両論ありました。実施する必要にならないことが何よりですが、教室に入りづらく別室に居る児童や、濃厚接触者等で自宅待機期間中の児童の活用は実際行っているところです。



(4) 《参考》『学力向上に係る数値目標』の推移について…いい機会ですのでご紹介します。

学力向上に係る項目	R3.2	R3.7	R3.11	7月比増減	目標値	4年	5年	6年
① 課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる	84.5	85.1	79.7	▼5.4	85.0	65.1	84.6	88.4
② 自分の考えがうまく伝わるよう話の組立てなど工夫して発表している	58.8	75.9	69.6	▼6.3	65.0	53.5	75.0	79.1
③ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深め、広げたりできている	73.2	72.3	65.2	▼7.1	75.0	48.8	78.8	65.1
④ 家で、授業の予習・復習をしている	56.7	51.1	59.4	△8.3	60.0	62.8	59.6	55.8
⑤ 学校の授業以外での平日における1日あたりの勉強時間（30分以上）	81.4	69.5	65.9	▼3.6	85.0	67.4	65.4	65.1
⑥ 学校の授業以外での平日における1日あたりの読書時間（10分以上）	52.6	61.7	52.9	▼8.8	65.0	58.1	44.2	58.1

◎ 守口市内各校は毎年度『学力向上プラン』を策定し、その中に『学力向上に係る数値目標』を6項目設定しています。それが上記①～⑥の設問による肯定的回答の数値（%）です。4～6年生を対象とし学期ごとに上記①～⑥のアンケートを実施しており、目標数値の達成に向けて、さまざまな取組みを行っています。

◎ ①～③の設問は主に授業における活動です。授業者が、それぞれの項目を意識しながら授業を組み立てます。「③:話し合う活動」の数値は、コロナ禍、下がり傾向です。①・②の数値は、昨年度末から今年度1学期にかけ上昇傾向でしたが、2学期の数値は①～③とも1学期に比べ5ポイント以上減少しました。このことは学校として重く受け止め、改善に向け取り組んでいるところです。



◎ 「④:家で授業の予習・復習」の数値は、2学期大きく上昇しましたが、「⑤:学校の授業以外の勉強時間（30分以上）」の数値は、今年度大きく落ち込み目標値とは20ポイント近く離れています。『自主学习ノート』とその内容の掲示や『SSW=家庭学習週間』、『SSP=セルフ・スタディ・プリント』の取組み、土曜日学習の市教委の事業『もりスタ』や学校運営協議会の『SSR=セルフ・スタディ・ルーム』の設定などは、全て家庭学習時間を少しでも増やして欲しいという思ひから行っているものです。児童の皆さんの積極的な家庭学習、自主学习が習慣になるようこれからも働きかけていきます。保護者の皆様のご理解と家庭学習への応援の程、引き続きのご協力をお願いします。

◎ 「⑥:学校の授業以外の読書時間（10分以上）」の数値も気になります。ただ、前述の「(1) 児童アンケート結果より」で示した、「本を読むことがすきになった」の肯定的回答が10ポイント以上アップしたことは、とても嬉しいことです。昼休みの毎日図書室開放、読書感想文や読書感想画の取組み、学校司書と連携した本と親しめる環境作り等、今後も児童の読書時間が増え、本を読むことが楽しいと思える児童が増えていくよう取り組んでいきます。ご家庭でも、短時間でも読書する時間を決めたり、家族で同じ本を読むなど、読書への関心を高めていただければ幸いです。